令和５年度　第１回　学校運営協議会　記録

参加者：奈良市民生児童委員　外野　善江　様
六条校区自主防犯・防災会会長　田中　太加雄様
認定ＮＰＯ法人法人　きららの木　理事長　江川　美奈子様
県立藤の木学園　園長　北脇　宏章　様
本校前校長　辻本　英夫　様
本校ＰＴＡ会長　権　秀旭　様
本校校長　中村　美和

欠席者：国立病院機構　奈良医療センター　事務部長　西川　俊之　様
県立奈良養護学校　元教頭　川岸　正典　様

≪中村校長より≫

〇ＣＳ（コミュニティー・スクール）の、主な３つの機能
・学校運営の基本方針の承認する。
・学校運営について意見を述べることができる。
・教員に求めることの意見を述べることができる。

〇中期計画について
・昨年からの変更点
①性教育に関わる指導計画である「こころとからだ　セルフプラン」試行も終わったことから完全実施
②観点別評価について、教育課程委員会に作業部会を設けて、個別の指導計画での観点別計画の反映方法を検討する。
③コロナで控えていた校内での地震火災避難学習等の実施

・今年度の新たな取り組み
①外部講師（大学、准教授）講演：観点別評価について
②外部講師（医師）講演：食へのこだわり、偏食について
③作業療法士　事例検討会
④ＮＰＯ法人　講演：人権研修　差別意識の現状　ネット社会の闇を中心に

〇会長の選出
・昨年度に引き続き、辻本英夫前校長に依頼

〇ご意見、ご質問
（事前アンケートより）
・地域に貢献する特別支援教育のセンター的機能等内容は？
→①教育相談、学校見学会、体験学習の開催
②研修会（大和郡山市特別支援教育コーディネーター研修会の講師）
③教育支援委員会、就学指導委員会への参加（教育相談部、校長）

≪質疑応答および意見交換≫

・（委員）夏季休業中の相談会や研修会は開催されるのか？
　→（校長）現在9組申し込み、実施する。

・（委員）10月の奈良市総合防災訓練は、学校工事期間と重なるが実行可能か？
　→（校長）可能。地域防災部会として地域共に活動していく。

・（委員）偏食への対応
　→孤食や朝食抜きの問題がある。生徒達が地域の方と一緒に育てた野菜を調理する機会も有効ではないか。いろいろな調理方法を考えるのも楽しい。

・（委員）ネットの問題
　→（校長）子を持つ保護者の多くが悩んでいる。大人が研修等を通して現状や対策を知り、みんなで見守っていく必要がある。

・（委員）居住地の近所の方々に、「こんな子が住んでいる。」ということを知ってもらうことが大切。顔見知りを増やす努力が必要。本校児童生徒に直接関わってもらうことが重要。
　→（委員）ある七条地区では、本校のバスが桜の木に当たることを心配して、枝を切る活動をしてくださっている。本校作品展では、保護者が我が子の作品を自慢する様子を見ることができた。「奈良東応援団」として、応援し続けたい。

・（委員）偏食対応として、藤の木学園で行っていることは・・・。
　→（委員）小さく刻んだり、他の食材に混ぜたりすることがある。一食でバランス良く考えられた献立なので、完食ができれば良いと考えている。

・（委員）保護者のサポートして、レスパイトの希望や需要も増加してきている。
　→親子関係を良好にすると考えられる。子どもの自立や親離れ、保護者の子離れを促進することもある。また、兄弟のケアを行うことができる。

・（委員）奈良東は特別支援教育のセンターとして、児童生徒、保護者に有効な情報をどんどん発信し続けて欲しい。また、教育相談、学校見学会、体験学習などにおいて、関係者が意見や情報交換が十分できる場の設定をお願いしたい。

（教頭）⇒次回の学校運営協議会は、２月１９日（月）の予定